

今回から「社会人の教科書」という本からです

## 叱られたら意味を見出せ

叱られたても落ち込むな。そう言われても、なかなかうまくできるものではありません。たとえば自分の失敗が原因で、会社としてえるはずの利益を逃してしまえば責任を感じるのも自然なことです。一方で、叱られる原因は、必ずしも納得できるものとは限りません。場合によっては、理不尽とも言える叱責を受けないとも限りません。

そんなとき、心の状態をどのように持っていくか。対処法は一つしかありません。**前向きに捉えるのです**。叱られたことは、すべての糧になる。自分が強くなるために必要なことだ。もっと大きな失敗をしなくて良かった。考え方はいろいろです。僕は、**すべてのことに意味がある**と考えるようにしています。自分にとって悪い出来事が起こった場合、あらかじめこうなると決まっていたと考え、「この出来事は自分に何を教えてくれようとしているのか」をしっかりと考えるのです。もっと大きな失敗をしないようにという警告ではないか。そういった前向きの発想が生まれてきます。

以前、誕生日に財布を落としたことがあります。よりによって誕生日に落とさなくても、と最悪の気分で社長の出口に話すと、予想外の答えが帰ってきました。「お、最高じゃん」聞いた瞬間はさすがにひどいなと思いました。でも、そのあとに続いた出口の言葉が秀逸でした。「今年は、もうこれ以上悪くなることはないよ。ボトムからのスタートだから、あとは良くなる一方だ」ものは考えようです。落ち込んでいても、財布を落とした事実が消えるわけではありません。明るく捉えれば、前向きになれるのです。落とした財布は折りたたみ式です。しかもぼろぼろでした。買い換えろというサインだったのかもしれない。

ある本に「お金持ちは長財布を持っている」と書かれていたことを思い出しました。いいチャンスだと思い、長財布を買い求めました。その本によれば、長財布にするとお金を大事に扱うというのです。お金に敬意を払っていれば、必ずお金が集まってくる。長財布に変えた僕も、お金に対する敬い方が変わったような気がします。

財布に入っていたクレジットカードが再発行されるまで時間がかかるので、その間の買い物は現金払いです。カード払いをやめて現金で払ってみると、毎日こんなにお金を使っていたのかという実感が得られました。財布を落としたおかげで、お金の使い方を考え直すきっかけにもなったのです。結局、現金だけ抜き取れていましたが、カード類は不正使用されずに戻ってきました。これも、考えようによってはラッキーです。最悪の事態は避けられたからです。

仕事上でも失敗し、叱られたときも同じだと思います。大ごとにならなくて良かった。この失敗のおかげで、同じ失敗を二度としなくて済む。そんなふうに考えてはいかががでしょうか。起こったことすべてに意味を見出す習慣をつけると、辛いことも辛くなくなり、無駄に一喜一憂することもなくなるのです。

**上司に叱られて傷ついたり悲しんだりしているとき、心の中は感情に支配されています。論理的思考ができず、善後策を考えられません**。注意を受けたときには、前向きに意味を見出し、冷静に改善策を打ち出すことで、社会人として成長していけるのではないのでしょうか

叱られた対処法は何ですか？

( )

著者は、叱られたことをどのように考えていますか？

( )